

産業廃棄物処理の課題と展望
報 告 書

平成8年(1996年)5月

(社)日本廃棄物コンサルタント協会
技術部会 産業廃棄物中間処理専門委員会

目 次

序章 研究会の目的と活動内容	1
第1章 我が国の産業廃棄物の現況と動向	3
1-1 産業廃棄物の発生・処理状況	3
1-2 産業廃棄物処理に関わる最近の動向	8
第2章 建設廃棄物	37
2-1 発生処理の実態	37
2-2 処理技術の現状と動向	44
2-3 今後の課題と展望	56
第3章 製品廃棄物	61
3-1 発生処理の実態	62
3-2 処理技術の現状と動向	70
3-3 今後の課題と展望	79
第4章 下水汚泥	83
4-1 発生・処分量の概況	83
4-2 処理の現状	85
4-3 集約処理	89
4-4 有効利用の動向	97
4-5 今後の課題と展望	101
第5章 有害廃棄物	102
5-1 発生処理の実態	102
5-2 処理技術の現状と動向	118
5-3 有害廃棄物の課題と展望	133
第6章 産業廃棄物処理事業における事業採算の検討	140
6-1 事業性の評価手法の検討	140
6-2 事業性評価	143

第7章 事例調査	151
7-1 タクマ 産業廃棄物焼却炉の設置事例及び焼却技術について	151
7-2 千葉産業クリーン	154
7-3 (財)横浜市廃棄物資源公社 金沢舗装廃材再利用プラント管理事務所	158
7-4 日本パール(株) 溶融スラグ 排出型ロータリー炉産業廃棄物焼却・溶融炉	163
7-5 (株)リフレックス (医療業、建設廃棄物の処理及び蛍光灯のリサイクル)	177
7-6 桶川市廃プラ(一廃) 油化、高温溶融技術	181
7-7 内部循環型流動床焼却炉(荏原製作所藤沢工場)	192
7-8 廃家電品低温破碎総合リサイクルシステム(日立製作所/NEDO)	201
第8章 まとめ	206
8-1 産業廃棄物の現況と法規制の動向	206
8-2 調査対象廃棄物の発生処理実態	210
8-3 処理技術の現状と動向	211
8-4 廃棄物処理の課題と展望	212